

Plan Do See

「いいね」を求める若者達 朝日中学校 校長 佐竹 隆太

朝のテレビの特集で、若者達が危険な場所で写真撮影をしていることに対して、警鐘をならしていました。例えば、立ち入り禁止の場所で、高さが30mもある海岸の崖ぎりぎりまで近付いて写真をとったり、車が行き交う景勝地の橋のど真ん中で写真をとったりしているそうである。地元の人はいつか大きな事故が起きるのではないかと冷や冷やしているそうです。



写真を撮影している若者に聞くと、とにかくきれいな景色をバックに自分自身の写真をとりたいらしい。危険であること、やってはいけない行動であることは十分承知しているが、その怖さよりも写真をとりたい衝動のほうが大きいらしい。

どうしてそこまでして、写真をとりたいのだろうか。聞くと、思い出を残すためというより、きれいな景色をバックに撮影した自分自身の写真をSNSに投稿するためらしい。そして欲しいのが「いいね」の返信。この「いいね」がほしくて危険を冒してまで撮影をするようだ。

この若者達の行動に憤りよりも、寂しさを感じるのは自分だけでしょうか。SNSの中ででもいいから、みんなから褒められたい、認められたい、という思いが強いのだろうか、という寂しさである。今まで、周りから褒められる、認められる経験があまりなかったのだろうか。そして彼らは、大人になっても、すました顔をしながらも、やはり誰かに認められたいという思いが強いんだなあということを再認識しました。しかし、よく考えてみたら、私自身、この年になっても、誰かに褒められたい、認められたいという思いは心のどこかに今も確実にあると思います。

こうした思いは子供であればなおさら強いことでしょう。説諭や叱責はもちろん大切です。ただし、褒めてやる、認めてあげる、あなたは大切な存在である、というメッセージを送り続けることの大切さも忘れないようにしたいものです。教師からのメッセージだけでなく、仲間からのメッセージも含めて。

その第1歩は、私たち自身がもっている、認められたい、褒められたいという気持ちに気づき、その気持ちを受け入れることから始まるのかなあと思ったりもしています。

「思えば…」

さみさと小学校 伊藤 美静

退職が目前となり、これまでの長い教員生活を度々振り返るようになりました。

幼い頃人見知りで勉強嫌いだった私が教師になりたいと思うようになったのは…

①子供の頃に読んだ「ヘレン・ケラー」に感動したこと

(これは子供たちに聞かれた時に用意している答えです。でも、ヘレンが発した最初の言葉、「ウォーター」に感涙したのは事実です。)

②中学生の頃、従姉妹に勉強を教えたら「分かりやすい」と褒められたこと

(なんと姉より上手と言ってくれました。)

③高校時代の親友が教師を目指していると知ったこと

(当時、聡明な彼女を敬愛し、何かと影響を受けました。)

④大学時代にもらっていた奨学金が教員になれば免除されるものだったこと

(これは、お得だから逃せないと思ってしまいました。)

…などなど、いくつかの理由があります。

実は、さほど崇高な理想を掲げてこの職業に就いた訳でもないのです。新採の頃は、失敗する度にひどく落ち込み、「辞めたい」と思ったこともありました。そのうちに自分も親になり、我が子を育てる中で親の立場で子供を見ることができるようになりました。そして、その頃初めて1年生を担当し、「子供ってこんなに可愛いものだったのか。」と、教師としての喜びも実感するようになりました。今、私の心の中には、たくさんの思い出が積み上がっています。その一つ一つが、私にとって大切な宝物です。

教師には、数多くの出会いと別れがあります。

私はその時その時、周りの人々に支えられ育ててもらってきました。これまでの充実した日々を思うと、出会った多くの方々への感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。本当にありがとうございました。



「職員室」

朝日中学校

上田 勝

「中堅」と呼ばれる年齢になった。つい数年前までは、歓迎会の新入会員審査テストで毎年模範演技を披露していたのに…

朝日中学校では、ここ数年で大きく職員の年齢構成が変化した。現在は、若手からベテランのバランスがとてもいいと感じている。このような状況で、「中堅」としてどのようなスタンスで立ち振る舞えばいいかを自問自答することが多くなった。そんな時、自分の思考や判断の拠り所となるのは、やはりこれまで同僚の先生方から学んだことである。実際に教えてもらったこと、見て、感じて学んだことが、確実に自分の財産となっていることを実感している。素敵な出会いがあったからこそ、今の自分がいる。

10年前も、そして今も朝日中学校の職員室は明るく、温かい。そんな職員室であるからこそ、我々には大きな学びがある。この学びがあるから、生徒に様々なことを還元することができる。学習規律が確立し、何事にも一生懸命に取り組もうとする本校の生徒の雰囲気は、実は職員室の雰囲気そのもののような気がする。私も「中堅」として、OJTの中核となり、何でも話し合える職員室の雰囲気づくりに貢献したいと思う。温かくも熱い、明るくも真剣な職員室で仕事ができることに感謝し、互いに高め合いながら仲間とともに歩んでいきたい。



今年度のさみさと小学校の合い言葉は「グー、チョキ、パーでいきいき姿勢」でした。学校保健委員会では、カイロプラクティックの先生をお呼びして、正しい姿勢のチェックの仕方と姿勢を矯正する方法を学びました。保健主事として、姿勢について取り組んでみると、子供たちの姿勢がいかに悪いか分かります。背筋が伸びていない子、足を組んでいて床に付けていない子、体が斜めになっている子等、よい姿勢を保てないことがよく分かりました。



ところが、町でいろんな人の姿勢を見てみると、姿勢の悪い人は子供だけではなく、大人でもいることが分かります。自分自身を省みても、猫背である、顔が突き出ている、肩が上がっているなど、悪いところが多くあるのです。癖がついてしまっていて、直そうとしても瞬間はよくなるのですが、気付くと姿勢が悪くなっています。よい姿勢を保つのは楽ではないのです。

姿勢が悪いと、肩がこる、腰が痛くなる、首が回らない、腕が上がらないなどの様々な症状がでます。子供たちは、姿勢が身体に悪い影響を与えていることに気付かないことが多いと思います。このことを子供たちに知らせ、生涯にわたって健康な生活を送るためには、よい姿勢が重要であることを粘り強く伝えていきたいとします。

特集 「カイロプラクティック」について

カイロプラクティックは、身体の構造（特に脊椎）と機能に注目した専門医療です。カイロプラクティックの施術法は、施術者によって様々ですが、主に脊椎やその他の身体部位を調整（矯正）することにより、ゆがみの矯正、痛みの軽減、機能改善、身体の内自然治癒力を高めることを目的としています。（厚生労働省、2014年）

分かりやすく言えば、骨格のゆがみ、特に背骨の機能異常を手技によって調整することで神経の働きを回復するヘルスケア（保健医療）です。すなわち人間の体を主にコントロールするのは脳につながる神経系であり、その働きがよくなれば自然に人は症状の改善とともに健康になるということです。また、将来起こりうる身体の不具合を予防したり、関節の可動域を広げることによって運動性をアップさせるという効果も期待できます。

＜一般社団法人 日本カイロプラクターズ協会 h p より＞

残念ながら、専門的な治療はカイロプラクターによるものに限られますが、直立姿勢、座る姿勢等を意識することで、子供たちにも効果があるでしょう。

＜先生方も頭すっきり やってみよう＞

☆ 記憶力を刺激し、頭をすっきりさせるストレッチ

先生方も疲れた時に、数回行ってください。勉強・仕事疲れ、肩こり、目の疲れ、気分転換、鼻づまりによいそうですよ。Let's challenge!



① 正座または椅子に腰掛け、両手を後ろで組む。

② 息を胸に一杯吸いきったところで止める。
この時、組んだ腕はできるだけ後ろへ高く伸ばす。
同時に顔を力まない程度まで前に突き出す。



③ 息が苦しくなるまで耐え、力を一気に抜いて息を吐く。

●これを数回繰り返す。

＜整体流健康ストレッチ 筒井朗晏（三起均整院院長）より＞

■期間:平成29年10月1日～12月31日 場所:上越教育大学 大学院 学校教育研究科

「配慮をして 遠慮しない」

あさひ野小学校 水島 真寿美

授業における教師の立ち位置、ファシリテーション技術を実際に授業参観したり多くの文献から学んだりしました。ホワイトボードミーティングを活用した定例進捗会議ゼミでは、今後の活用分野を広げる技を学ぶことができました。

多忙極まる中、指導教官を快く引き受けてくださった上越教育大学 教職大学院准教授 阿部 隆幸先生には、本当にお世話になりました。阿部先生の講義や講演、ゼミでの指導、多くの文献に触れるたびに、新しい教育、新しい授業の在り方を学ぶことができました。先生は、いつも「未来社会に生きる子供たちに必要な力を付けるためには、コミュニケーションの量と質を上げることが最も大切だ。」ということを示されました。これは、子供たちに限らず、私たち大人にとっても大切なことだと思います。

また、先生は、ゼミの学生の研究や講義において、「常に全体を観て、上手くいくように、鋭く、且つさりげなく配慮する スーパーファシリテーター」となっておられました。

「配慮をして遠慮しない」

これまで遠慮しがちな自分を反省。「遠慮」は、ある意味、現実逃避、自己主張がないように思われがちです。また、「配慮」は…。これも、自分は加減が上手くできないのでは…と、また反省。授業づくりに限らず、学校現場、社会においてもファシリテーターとしての意識を持ち続けていかなくてはならないと思います。

阿部研究室の大学院生、学部生、現職大学院生のみなさんとの触れ合いを通して、研究に対する誠実さ、そして人に対する誠実さがひしひしと伝わる日々でした。真摯に学ぶ姿勢、みんなで協働してよりよくしていこうとする向上心は何よりも代えがたい学びでした。今後の教員人生に生かすためのたくさんの新しいことをインプットさせてもらいました。このことを今後職場に伝えて、未来に生きる子供たちのために支援していきたいと思います。

そう強く思わせてくれたのがこの内地留学です。



阿部隆幸先生と研究室の仲間たち

読書案内～「教師力」をつけよう

<新刊の紹介>

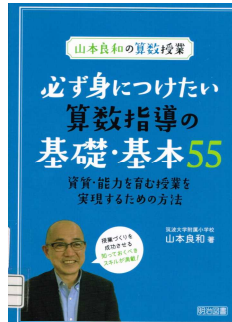
今年度、当センターで購入しました新刊の本を一挙ご紹介いたします。年度末のお忙しい日々が続いておりますが、日常生活の中で、ちょっとした読書の時間が、先生方の心のゆとり、心の栄養となることでしょう。ご購入希望の方は、お気軽に当センターまでご連絡ください。



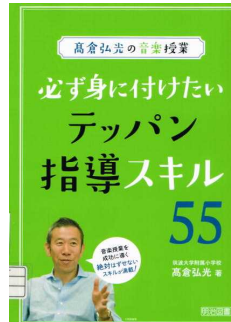
青木 伸夫



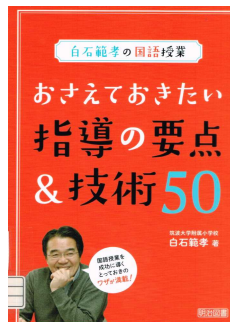
青木 伸夫



山本 良和



高倉 弘光



白石 範孝



上條 晴夫



加藤 宣行



堀 裕嗣



河原 和之



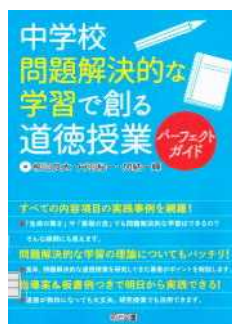
赤坂 真二
堀 裕嗣



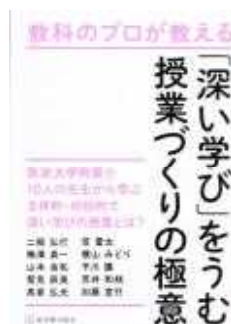
加藤 宣行



柳沼 良太



柳沼 良太



加藤 宣行等



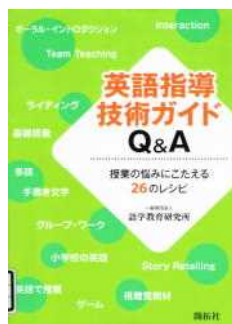
杉田 洋



粕谷 恭子等



粕谷 恭子等



粕谷 恭子等



安原 修次



竹内 和雄

授業に活用しませんか？ 新作DVD・カードゲーム



小学校中高学年向け 薬物乱用防止教育ビデオ

麻薬探知犬が教えてくれたこと

監修 兵庫教育大学 鬼頭 英明 教授
制作 株式会社 映学社

たった一度だけでも薬物乱用すると、体にどのような影響を与えるか、薬物はなぜ法律でも厳しく罰せられるのか。麻薬探知犬を主人公に、小学校の子供たちにも分かりやすく説明します。

6年生の保健の授業「薬物乱用防止」の単元で、活用するとよいと思います。ぜひ、ご活用ください。



中学校3年生向け 面接指導用ビデオ

決定版！高校入試 面接攻略DVD 全3巻

監修 関本 恵一 (元全国中学校進路指導連絡協議会会長)
販売 株式会社 パンドラ

「緊張してうまく話すことができない…」

「面接で何を聞かれるのか不安…」

初めて面接を前にした中学生たちは、そんな不安でいっぱいです。そんな不安を解消するために、面接試験の流れやマナー、よく聞かれる質問等に焦点を絞り、編集されています。この DVD は、面接対策の説明の際に、活用すると大変有効です。

(第1巻) 面接にそなえて

面接の役割と重要性を紹介し、面接時のマナーと常識、面接の流れを分かりやすく解説しています。

(第2巻) 面接の攻略法

面接のポイントのポイントや攻略法を紹介し、よく聞かれる質問事項を厳選、実践的なアドバイスを紹介します。

(第3巻) 面接攻略シミュレーション

面接はきちんと準備しておくことで安心して臨めるものです。そこで、実際の面接の雰囲気をつかめるようにドラマ形式で構成されており、実際の面接の様子を確かめられます。



小学校中高学年・中学校向け 防災教育教材

「減災アクション！カードゲーム」

監修 東北大学災害科学国際研究所 久利 美和
東北大学 登録商標

東北大学災害科学国際研究所の久利美和講師らの指導、監修のもと、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（安全安心）「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」の大学院生らが、災害時には、子供たち自身で「いのちを守る行動」をとって欲しいとの思いで、ゲーム形式を取り入れた防災・減災教育用教材「減災アクション！カードゲーム」を完成させました。

「減災アクション！カードゲーム」は、災害時の行動について、①問題文を読む、②答えの行動を示す絵札を3秒以内にとる、③その行動について30秒で説明することで、災害時にいのちを守るための「とっさの判断」を「自分の力で考える」ことを学ぶ教材です。グループ活動において、短時間で気軽にできるので、ぜひ試してみてください。

○各会合のまとめから 来年度の方針を考える

＜生徒指導関係から＞

- ・ 今一度原点に立ち返って、小中高ともにさわやかな挨拶ができる子供の育成（継続的な取組）
- ・ SNS・オンラインゲーム等の過度の利用による依存症が共通の問題。情報モラル教室の継続と各校での積極的な指導実践。

＜郷土教材研究の面から＞

- ・ 調査員が中心となり、郷土教材・資料となる史跡や名所をガイドする現地学習会の充実
- ・ 郷土教材・資料等を活用した授業づくり（授業の提案・模擬授業）
- ・ 校外学習一覧の改訂・発行

＜学力向上・研究関係から＞

- ・ 自分の思いや考えを豊かに表現する（話す・書く等）子供の育成と学び合える学習集団づくり
- ・ 「考え、議論する道徳」への転換を図る授業改革
- ・ 「あさひスタンダード」を意識した学習規律の徹底（小中共通実践）



「オール朝日町」で連携していこう



＜情報教育研究の面から＞

- ・ タブレットを効果的に活用する研修会と授業研究を来年度も実施していく。
- ・ プログラミング教育を具体的に考えていく必要がある。
- ・ ICTの環境整備・タブレットの活用効果の調査



＜外国語活動教育から＞

- ・ 推進委員会より
授業実践において4つのポイントを提示
（4つのポイント）
 - ①単元の出口の目標（目指す姿）をもつ。
 - ②中心となる会話文を繰り返す活動を位置付ける。
 - ③書くことにつながる活動を授業初めに必ず行う。
 - ④授業実践をストックする。（指導案・教材等）
- ・ 外国語活動の指導力の向上を目指した授業研究の充実



＜センター研修の面から＞

- ・ 先生方の教育ニーズに合わせたより実践的な研修の計画
- ・ 学級経営・道徳教育の充実に向けた研修づくり（講師の精選等）
- ・ 研修効果の検証（教職員アンケート）
（研修で学んだことを子供たちに還元する）

平成29年度 朝日町小中学校研修会 委員会・調査員の皆さん

□ 朝日町教育センター運営委員

小中学校長会	代表	松原	隆志
小中学校	代表	佐竹	隆太
小教研	代表	金山	住恵
教頭会	代表	内山	真之
教務主任会	代表	能登	千春

□ 朝日町学校教育運営研修会企画委員

あさひ野小学校	金山	住恵 (委員長)
朝日中学校	竹内	康彦 (副会長)
朝日中学校	米田	歩
あさひ野小学校	大森	敦
さみさと小学校	能登	千春

□ 朝日町学力向上推進委員会

朝日中学校	竹内	康彦 (委員長)
朝日中学校	阿部	伸彦 (国語)
朝日中学校	田又	繁幸 (算数・数学)
あさひ野小学校	水島	真寿美 (国語)
あさひ野小学校	舟本	麻衣 (算数・数学)
さみさと小学校	鍋島	朋子 (国語)
さみさと小学校	浦田	佳子 (算数・数学)

□ 情報教育研究調査員

さみさと小学校	内山	真之 (委員長)
さみさと小学校	鍋嶋	祥平
さみさと小学校	松井	和貴子
朝日中学校	廣川	平
朝日中学校	阿部	伸彦
朝日中学校	相田	健悟
あさひ野小学校	中島	亮

□ 外国語活動推進委員会

あさひ野小学校	長谷川	亙 (委員長)
朝日中学校	米田	歩
朝日中学校	橘	紀子
あさひ野小学校	兵庫	秀典
さみさと小学校	谷口	優稀

□ 郷土教育教材開発研究調査員

あさひ野小学校	長谷川	亙 (委員長)
あさひ野小学校	山下	雄己
さみさと小学校	太田	浩二
さみさと小学校	高島	清賢
朝日中学校	岩崎	將展

□ 朝日町小中学校児童作品展実行委員

さみさと小学校	松原	隆志 (委員長)
あさひ野小学校	兵庫	秀典

さみさと小学校	太田	浩二
朝日中学校	寺田	雄一郎

<編集後記>

2月の平昌オリンピック。大会では、日本人選手のメダルラッシュの活躍に国民が魅了された。

その中でも、私は、本番で活躍することができなかった一人の選手の言葉が心に残っている。それは、フリースタイルスキーの田原直哉選手の言葉である。

田原は、アテネで活躍した富田・水鳥らと肩を並べるほどの体操選手から一転、スキーに挑戦した異色の選手。五輪を夢見て12年。37歳にして初出場を成し遂げた苦労人だ。

本番では、…本来の実力を出し切れず、予選敗退。田原は、悔しさを噛み締めながらこう言った。「今まではメダルが目標。悔しい。でも、この場に立って初めて、それよりも大切なことを感じられた。」

田原は、何を感じたのだろう。

教育でも、様々な結果を求められる。しかし、結果以上に価値のあるものは何か。その価値を感じられる心を育むためには…。この追究こそ、今の教育に必要ではないかと感じた一場面だった。

本年度の各種委員会の活動により、充実した研究・研修を進めていくことができました。これも、偏に委員の皆様のお力添えと参加者の方々のご協力のお陰です。本当にありがとうございました。

来年度も、朝日町教育センターでは、未来・地域を担う子供たちのために、より質の高い教育の実現に向けて、町内の先生方とともに研究・研修に励んでいきたいと考えております。どうぞ、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

発行:朝日町教育センター

〒939-0743

富山県下新川郡朝日町道下1053-1

TEL (0765)83-0279

FAX (0765)83-0279

E-mail asahi-ec@tym.ed.jp